



森のなかま

2014年3月号

NO. 71 (継続216号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

“安全研修会(13期生対象)開催” 安全第一/Safety First

＜安全管理委員会 委員長 高橋 修 9期＞

平成25年度に新規会員となった13期生を対象とした【安全研修会】をやどりき水源林で開催し、今後の活動における安全について研修をおこないました。

日時：平成26年2月2日(日) 9:00～15:00

場所：やどりき水源林 休憩棟及び後沢ボランティア林周辺

参加者：19名(13期生)

講師：高橋 修(9期)、滝澤 洋子(5期)、佐藤 一之(11期)

【研修会概要】

- 最初に当会で行っている安全に対する考え方と活動における安全チェックシートの活用、作業前の安全ミーティングの重要性等について確認いたしました。

”安全第一が最重要であり、参加者には笑顔で帰っていただくことが使命と考えます”

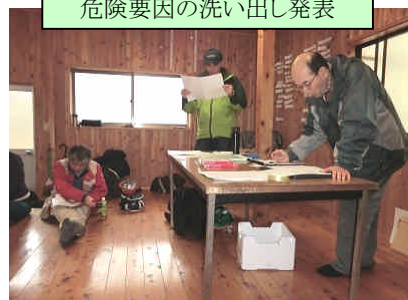
- 作業前に行うKYK(危険予知活動)の意味と実施方法等について説明と実演。
- リスクアセスメントの手法説明後、後沢ボランティア林に移動し、間伐作業について『危険要因の洗い出し』を実施。(午前中)
- 休憩後、リスクアセスメント洗い出し結果を参加者全員に説明してもらいながら、壁に張り出す作業を行う。
- リストアップされた『危険要因の洗い出し』項目から2点ほど抽出し『リスクの見積り』から『リスク低減対策の検討と実施』まで、各自でまとめて発表。
- まとめ及び連絡事項を行い終了



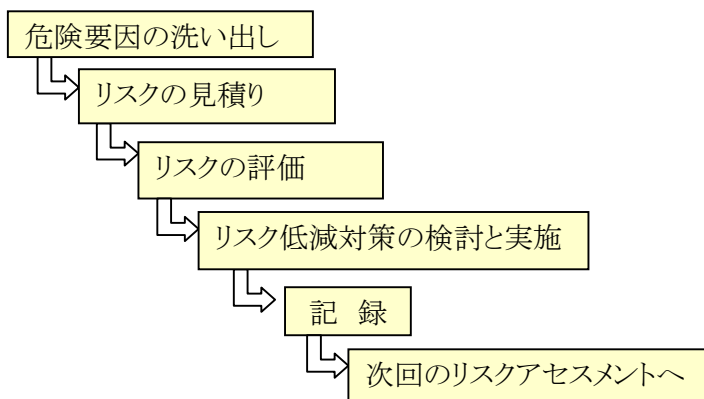
危険要因の洗い出し実施中



危険要因の洗い出し発表



＜リスクアセスメントの流れ＞



【安全管理委員会より】

安全に対する意識と技術の向上は両輪であり、今後も安全研修会の参加、各部会の研修に積極的に参加をいただき、参加者の安全と信頼を得ると共に、自分自身も楽しい活動をしていただきたいと思います。ご参加ありがとうございました。

森林部会

『チェーンソーを使用した間伐講習会』

愛川ふれあいの村、 1月26日(日) 9:30~15:00



< 森林部会会長 佐藤 武晴 5期 >

チェーンソー経験者を対象として、NPO法人「森林の風」から井伊秀博氏をお招きし、胸高直径24~30cm、高さ20m超のスギの間伐実技の講習会を実施しました。



オリエンテーション



受け口切り

参加者は20名、3班に分かれて班毎に講師の指導の下で実習、他の班は遠巻きにして講師の一言一句に耳を傾けていました。チェーンブレイキをかけてエンジンスター、セフティバーは左手で操作などチェーンソーの基本操作から、受け口の作り方、ツルの大切さ、根張り切り、バーが挟まれないためのクサビの活用など、追い口を切り終わるまでにも指導に熱が入る。伐倒時のロープ、クサビ、チルホールの使い方をそれぞれ実践しノウハウを伝授していただく。

最後は「追いヅル切り」の紹介と「突っ込み切り」におけるキックバックに対する注意と共に講師によるチェーンソー操作のデモンストレーションで締めくくられた。



伐倒後の見直し



チルホールによる索引



講師による「突っ込み切り」デモ



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

自然観察部会 平成25年度 『冬の探鳥会』

箱根ビジターセンターと周辺、1月11日(土)、快晴

< 自然観察部会 赤崎さほり 12期 >

2014年が始まってすぐの1月11日、冬の探鳥会は、箱根ビジターセンターにて行ないました。参加者は16名、講師は山本健一郎様(元横須賀市立自然人文博物館学芸員)をお願いいたしました。

室内での講義

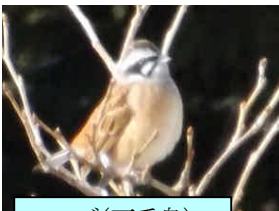


山本 講師

パウダースノー下
での屋外観察

この日箱根の天気は快晴、風は殆どありませんでしたが、雪が残っており、陽光にあたっけきらきらと輝くパウダースノーの新雪について子供のような歓声をあげてしまう程大変に美しい景色で、新しい年への希望に胸がいっぱいになるようでした。

この日観察できた野鳥の種類は、講師の山本様曰く「あまりいない」といわれるほど少なく、散策路ではヒヨドリ、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラ、モズ、トビ、ノスリが、芦ノ湖湖畔ではマガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、オオバン、カワウが観察できた位です。



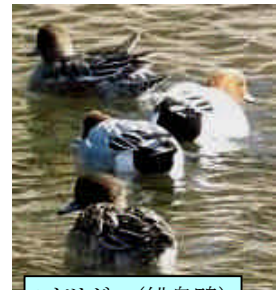
モズ(百舌鳥)



キンクロハジロ(金黒羽白)

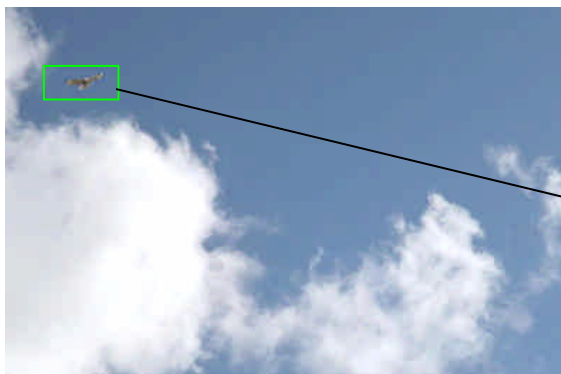


オオバン(大鵜)



ヒドリガモ(緋鳥鴨)

しかしながら、野鳥の餌である植物の実についての話、野鳥に出会いやすくなる生態に基づいたコツや探し方、また、雪の上の動物の足跡など山本様の解説は話題豊富で、決して飽きのこない4時間でした。初心者の方は芦ノ湖の海賊船のそばで優雅に泳ぐカモが見られただけで大感激でした。終了間際、気持ちのよい冬の上空にノスリが翼をいっぱいに広げ、旋回して挨拶をしてくれたようでした。



ノスリ(鴞)の旋回



午後は各々が図鑑とルーペを片手に冬芽観察もいたしました。フィールドでの植物同定の一助になればと思います。

(写真撮影: 広報部 松本) (鳥の写真は遠隔と動きが早い為に画像不鮮明が多くあります御了承ください)

『インストラクター への道』

< 内田 啓太 13期 >

昨年11月30日をもちまして仲間入りさせていただいた13期生32名の1人です。私は、前職の関係で県民参加の森林づくりに24才の時に初めて参加させてもらい、現在36才です。

初参加以降、年に1～2回程度の頻度で参加していたのですが4、5年ほど前にもっと参加回数を増やそうとの思いから、県民参加の森林づくりに全エントリーをする事にしました。小学3年生の娘と小学1年生の息子がいますし、父親版PTAにも参加していて、仕事もちろん現役で働いていますので、なかなか全部参加するのは難しいのですが、県民参加の森林づくりに全エントリーする事により、一つの目標と言いますか、物事にメリハリが付くようになってきました。

以前でしたら、仕事で終わらない部分は土曜や日曜、祝日に挽回すればいいやと思っていましたが、今度の土曜に県民参加があるからもう少し頑張ろうとか、今度の日曜に子供の通う学校のイベントがあるからもう少し頑張らないとダメだといった心掛けが出来るようになりました。

多少は仕事で終わらない部分もある時があるので、その時は休日の夕方、県民参加などが終わってから職場に行って、終電近くで帰るという事もあります。

子供が小学生になって、幼稚園イベントから解放された今年度は県民参加(自然保護活動含む)全18回のうち16回参加出来ました。うち1回は中止。もう1回は子供の学校のPTA祭で参加出来ませんでした。

一般参加を回数多くする事により、知り合いも増えまし、ベテランさんもわかるようになってきましたし、神奈川県森林インストラクターの方の顔も段々とわかってきましたし、色々な事を教えていただきました。特にインストラクターのSさんやOさん、MさんやKさん、Iさんには色々な事を教えていただきました。教えていただいた事、今まで学んで来た事を誰かに伝えたいとの思いが、この度の神奈川県森林インストラクターになる切っ掛けとなりました。

今後も県民参加の森林づくりに全エントリーしつつ、神奈川県森林インストラクターの時には参加者の方々に色々と伝えられるインストラクターを目指します。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

(写真撮影 広報部 鈴木松弘)



山の神祭での13期生(1.12.)

■ 13期生対象の会および各部会の活動説明会がおこなわれました。 ■

日時: 1月25日(土)14時～16時

場所: 相模原市ユニコムプラザさがみはら

活動説明対象は

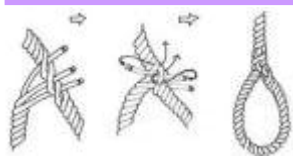
- ・会全体
- ・森林部会 ・自然観察部会 ・森林文化部会
- ・普及開発部会 ・森林癒し部会
- ・やどりき事業部会 ・日本触媒湯河原の森
- ・総務部 ・広報部 ・事務局

説明会の様子



『 さつま編みの輪を付けた引き縄（手もとロープ）を作ろう・勉強会 』

厚木勤労福祉センター、 1月18日（土）18:30～20:30



< 森林部会 大澤 斗志郎 10期 >
 （写真撮影 滝澤 洋子 氏 5期）

森林部会も森林の中で木を伐っているばかりではありません。

今回は、両端をさつま編みのアイ(輪)でビシッと決めた、森林整備作業時の個人必携品《手もとロープ・引き縄》を作ろうという勉強会です。

22名の参加者一人一人に3メートルのロープ、ロープの撚りを広げるスパイキ、4色のビニールテープが配られました。

講師(大澤)の説明に従って、ロープの一定寸法のところをビニールテープで固定。

次に撚られている3本(ストランド)をほぐし、先端をテープで3色に色分け。

いよいよ編み込みの開始。最初の1段目と2段目の編み込みが、この“さつま編み”の肝心なところ。

手順を理解・納得し、どんどん作業を進める人、何度もつまづきながら、編み込んではほどこき、そしてやり直しを繰り返す人、さまざまでした。



始めの説明会



撚り3本をほぐし、先端をテープで色分け

いずれの方も、嬉々として制作を楽しんでいました。

ロープの両端に輪(アイ)を完成させられた人、片側しかできなかった人、途中で時間切れになり、“宿題”になってしまった人、いずれも何回かやってみることが、より確実に、より完成度の高いものができることを納得し、勉強会を終了しました。

春からの森林整備活動には、少なくとも今日の22本の《引き縄》が各フィールドで活躍するでしょう。



編み込み開始、最初の所が難しい



できたよ！！



出来上がり！！ 末端処理2種

私の認識

野鳥その119

高橋 恒通

今回は野鳥に関する話題提供として、我国都道府県の野鳥、樹木、花を列挙いたしますので、ご自分やご両親そして探鳥会などに参加された方の出身地のそれを知って、好きになるキッカケにして戴ければ幸いです。

因みに、日本の国鳥はキジ、そして国蝶はオオムラサキです。ご参考にして下さい。



< 都道府県の 鳥、木、花について >

都道府県名	鳥	木	花	都道府県名	鳥	木	花
北海道	タンチョウ	エゾマツ	ハマナス	滋賀	カイツブリ	モミジ	シャクナゲ
青森	ハクチョウ	(アオモリ)ヒバ	リンゴの花	京都	オオミズナギドリ	(キタヤマ)スギ	シダレザクラ
岩手	キジ	ナンブアカマツ	キリの花	大阪	モズ	イチョウ	ウメ・サクラソウ
宮城	ガン	ケヤキ	ミヤギノハギ	兵庫	コウノトリ	クスノキ	ノジギク
秋田	ヤマドリ	(アキタ)スギ	(アキタ)フキナウ	奈良	コマドリ	(カスガ)スギ	(ナラ)ヤエザクラ
山形	オシドリ	サクラナボ	ベニバナ	和歌山	メジロ	ウバメガシ	ウメの花
福島	キビタキ	ケヤキ	ネモトシャクナゲ	鳥取	オシドリ	ダイセンキアラボク	20世紀ナシの花
茨城	ヒバリ	ウメ	バラ	島根	オオハクチョウ	クロマツ	ボタン
栃木	オオルリ	トチノキ	ヤシオツツジ	岡山	キジ	アカマツ	モモの花
群馬	ヤマドリ	クロマツ	レンゲツツジ	広島	アビ	モミジ	モミジの花
埼玉	シラコバト	ケヤキ	サクラソウ	山口	ナベズル	アカマツ	ナツミカンの花
千葉	ホオジロ	(イヌ)マキ	ナノハナ	徳島	シラサギ	ヤマモモ	スダチの花
東京	ユリカモメ	イチョウ	ソメイヨシノ	香川	ホトギス	オリーブ	オリーブの花
神奈川	カモメ	イチョウ	ヤマユリ	愛媛	コマドリ	マツ	ミカンの花
新潟	トキ	ユキツバキ	チューリップ	高知	ヤイロチョウ	ヤナセスギ	ヤマモモの花
富山	ライチョウ	(タテヤマ)スギ	チューリップ	福岡	ウグイス	(クルメ)ツツジ	ウメの花
石川	イヌワシ	アテ(ヒノキアスナロ)	クロユリ	佐賀	カササギ	クスノキ	クスの花
福井	ツグミ	マツ	スイセン	長崎	オシドリ	ヒノキ・ツバキ	ウンゼンツツジ
山梨	ウグイス	カエデ	フジザクラ	熊本	ヒバリ	クスノキ	リンドウ
長野	ライチョウ	シラカバ	リンドウ	大分	メジロ	ブンゴウメ	ブンゴウメの花
岐阜	ライチョウ	イチイ	レンゲソウ	宮崎	コシジロヤマドリ	フェニックス	ハマユウ
静岡	サンコウチョウ	モクセイ	ツツジ	鹿児島	ルリカケス	クス・カイコウズ	ミヤマキリシマ
愛知	コノハズク	ハナノキ(ハナカエデ)	カキツバタ	沖縄	ノグチゲラ	リュウキュウマツ	デイゴ
三重	シロチドリ	ジングウスギ	ハナショウブ				

◎ イラスト 広報部 大塚 晴子 (一時期 ペンネーム ハル)

◎ PC化 広報部 加藤 暖子 (今まで名前を表記しておりませんでした)

■ ■ ■ お 知 ら せ ■ ■ ■

1. 10年間連載されてきました高橋恒通氏(3期)執筆の“わたしの認識 野鳥…”が120回をもって終了致します。
2. 新たに間欠掲載で『香りの図書館館長“谷田貝 光克 様”』に執筆いただけることとなりました。木質材料化学、天然有機化学、木材成分利用等の広く深い知識／経験からどのような事を書いて(飛び出してくる)頂けるのか、ワクワクです。

<香りの図書館 館長の谷田貝 光克 様の概略プロフィール>

(東京大学名誉教授、前秋田県立大学教授、木材高度加工研究所所長)

- ・参考) 香りの図書館ホームページ

<http://www.fragrance-j.co.jp/library/>



- ・参考) 木材高度加工研究所ホームページ

<http://www.iwt.akita-pu.ac.jp/Personal/yatagai/Japanese/default.php>

活 動 短 信



今回の掲載は
平成25年12月5日～
平成26年1月26日です。
投稿頂いた中には、紙面
の都合上、次号以降の掲
載になるものもあります。
予めご了承下さい。

◆ 鎌倉市立深沢中学校

学校内林整備

日 H25.12月5日(木)、9:00～12:00、曇り

場 鎌倉市立深沢中学校

参 中学2年生136名(男子80名、女子56名)

イ L坂斎⑧、井出①、伊藤⑦、三浦⑧、福島⑨

海野⑩、酒井⑩、小笠原⑩、松本⑪

深沢中学校は鎌倉市北西部の緑の高台にある。

学校の敷地内緑化整備作業を約2時間行った。作業等の説明後、各班に分かれ現場に入る。道具はノコギリと枝切りバサミが用意されていた。

道具を手にとると生徒達はどこでも構わず切り始めた。再度なぜこれを切るのか、どこを切るのかを説明する。急斜面もあり、危険箇所もあったが無事に作業は終了した。

最初は嫌々感があふれていた生徒達の表情も達成感がみられ我々もホッとする。このような作業を通して自分達の学びやの好環境を感じとって貰えたらいいなと思った。作業終了後に生徒達に感想を聞いてみたところ「おもしろかった。きれいになった。」と言っていた。校内のほんの一部しかできなかったが今後も整備が進むことを祈って帰路に着いた。

(記 小笠原 多加子 10期)

◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 H25.12月7日(土)8:30~14:30、晴れ

場 相模原市鳥屋

参 募集参加者76人

財 豊丸様、鳥海様、 看 青木様

イ L 宮下⑩、石原③、高橋③、島岡③、足立④、
相馬⑤、北村⑥、富樫⑥、伊藤⑦、有坂⑧、清水⑧
鈴木⑧、大澤⑩、後藤⑩、山口⑪、佐藤(義)⑪

12月にしては暖かく絶好の活動日となった。8時半までに本厚木駅に参加者集合。班ごとにバスに乗車。一路、本日の活動場所である、宮ヶ瀬湖に近い相模原市鳥屋に向けて出発。今回は途中のトイレ休憩や参加者の乗降があったため、活動の初めから最後まで班行動。点呼や人員確認が必要となった。

10時過ぎには現地到着。オリエンテーションでは、作業の概要、事故防止と安全作業、グループ行動の必要性を説明。ストレッチ体操の後、道具を片手にいざ作業地に出発。現地はヒノキの23年生の林で、かがり木は避けられない。1班3グループに分かれての作業。受け口、追い口の作り方、ツルの残し方、ロープのかけ方の説明が始まり、間伐作業の開始。かがり木になっているため、ロープでのけん引やフェリングレバーを使つての作業は必須。倒れるごとに歓声が聞こえていた。全員で36本を伐倒。短時間ではあったが充実した活動ができたのではないと思う。

昼食後のミニ講話は「年輪」の話。13時には現地を出発。本厚木駅で解散となった。事故やけがもなく県民参加の森林づくり活動が出来、参加者の皆さん、関係者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいである。

(記 宮下 修一 10期)

◆ 川崎市公園緑地協会(こども黄緑クラブ)
コナラの伐採、枝打ち

日 H25.12月8日(日)、曇り後晴れ

場 岡上梨子ノ木緑地(川崎市麻生区岡上)

参 22名(子ども10名、大人12名)

スタッフ 川崎市公園緑地協会 2名

イ L 小林⑩、柳澤⑪、大橋⑪

本件は(公財)川崎市公園緑地協会が企画した平

成25年度緑のボランティア育成事業のとして開催されたものです。本講座は親子で楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑を守ること達を育てることを目的に小・中学生とその保護者を対象に実施しました。

10年超の1~2m間隔で植樹されたクヌギとコナラ林、枝葉が混み具合は間伐・枝打ちが目的には程よく手頃な場所でした。最初に現地団体代表者から緑地の生い立ちや活動内容の説明を受け、公園緑地協会からは緑地保全の必要性、更にその土地にあるものは持ち出さず・持ち込まず、生態系にも十分配慮することが大切であることを分かりやすく伝えることができました。

初めての間伐体験と枝打ち体験作業、切り落とした幹や枝を使ったホダ木やクラフトづくりは、参加者の期待とやる気を十分に満足させた内容となりました。鋸の扱いはインストラクターの指導に従い安全に注意しながら慎重に作業を行っており、怪我もなく皆笑顔で楽しく活動することが出来ました。

(記 大橋 聡 11期)

◆ 神奈川県西部広域行政協議会 環境部会主催
水源の森の恵みを感じるツアー

日 H25.12月14日(土)10:00~14:30、晴れ

場 白銀山(箱根町)

参 大人23人、子供12人、

スタッフ 13名 (小田原山盛の会
／ブリの森づくりプロジェクト10人)

イ L 白畑⑦、松本⑧、阿部⑧

箱根のターンパイク沿いの白銀山で神奈川県西部広域行政協議会環境部会主催のツアー。天気は晴れだったが、西からの冷たい風が山に吹き上げてくる寒い一日だった。

10時にバスで到着した参加者を迎え、歩いて15分ほどの白銀山山頂付近へ。ここで、まず「小田原山盛の会」及び「ブリの森づくりプロジェクト」の人たちによる山での活動を伝える紙芝居と間伐の手本の紹介、その後4班に分かれ、間伐体験、ブナの実を植え、及びクラフトを行う。11時半には下山し、県立生命の星・地球博物館に移動し昼食、午後は館員の方による「水源の森」の説明、館内見学を行った。

我々インストラクターは、白銀山でのクラフトで「書けないエンピツ作り」の手伝い。

上記のスケジュールで分かる通り、とにかく短時間での盛りだくさんの内容で、我々のクラフト体験もひとつの班の時間が10分ほど、おまけに風の冷たい山の上での作業で手がかじかんでおり作業がはかどらず、半数近くが、エンピツを完成できずに残りはバスで、という形になった。班に分かれた作業では、我々のクラフトが参加者に一番興味をもってもらえた、と言われただけに、少しもったいない気がした。

山の活動を伝える紙芝居や間伐の手本など、ひとつひとつは素晴らしい内容であり、白銀山の植生も興味深かっただけに、今回のツアーは魅力満載ではあるが、あまりに詰め込みすぎのきらいがあり、特に小学生などは戸惑ったのでは。

(記 阿部 純一 8期)



◆ カリタス学園 里山整備奉仕活動

日 H25.12月17日(火)11:30～16:00、曇時々晴

場 川崎市麻生区多摩美の森

参 中学3年生195名、教師15名

スタッフ 川崎市人材バンク登録者3名、

現地活動団体2名、

川崎市公園緑地協会関係者1名

イ L 清水⑧、岡田(誠)⑫、門澤⑫

当初は2日で実施の予定をであったが18日の天候悪化が予想されるので急遽一括実施となった由当日の事前打ち合わせで知らされ、一抹の不安を覚えながら我々は、草刈、蔦除去と竹除去活動に分かれて指導にあたった。

女学校の3年生、鎌やのこぎりを持ったこともない子どもたちではあったが活動を進めるうちに後ろを振り返ってその成果を確認し「やった」と達成感を味わっていた姿は微笑ましい限りであった。

時期も時期なので枯れ草の整理、蔦に至っては見当たらない状態ではあったが殆どは、繁茂している

笹の除伐であったが、無い力を振り絞って鎌を使いこなし残渣は、ただ積み上げるのではなく風で飛ばないように低地の笹縁に広く横たえて雑草の抑止にもなることを理解して処理していた。

今日の活動体験と感動が、彼女らが将来にわたって自然を大切にする心を育み、生活環境整備の担い手となってくれることを期待して会場をあとにした。

(記 清水 良一 8期)

◆ 相模原市立緑台小学校

森林の間伐体験

日 H25.12月17日(木)11:30～15:30、曇時々晴

場 相模原市緑区澤井(ふじの体験の森やませみ)

大日野原山林

参 小学5年生82名、教師5名、カメラマン1名

財 古館様

や やませみ職員4名

イ L 塩谷⑦、佐藤⑤、宮本④、伊藤⑦、小野⑦
武者⑦、渡部⑦、小沢⑨、松山⑩

小学校の間伐体験学習としては、遅めのスタート。10時15分児童を乗せたバスが到着。11時30分より始めの会、道具を配布。

11時50分“やませみ”発、12時15分大日野原山林着。全体説明の後、班毎に昼食。食後13時より間伐体験。

先ず、間伐の意義、鋸の持ち方など事前説明を行って、伐木、枝払い、玉切り、土産づくり。土産のコースターづくりのころには、鋸の使い方も上手になって、中には2個作った子もいた。帰りに1.5mに切った材を広場まで担ぎ出し、軽トラックに載せて14時45分間伐作業終了、下山。

“やませみ”着後、班毎のグループミーティング(森林講話、質問等)。15時30分まとめの会を以て終了した。

(記 松山 隆二 10期)

◆ 県民参加の森林づくり(入門コース)(間伐)

日 H25.12月21日(日)8:00～14:40、晴れ

場 小田原市久野(生産森林組合有林)

参 募集参加者47名

県 森林再生課 江口様

【財】 豊丸様、鳥海様 【看】 青木様

【イ】 L酒井⑩、伊藤⑦、鈴木⑦、阿部⑧、小沢⑨
飯澤⑨、辻村⑨、海野⑩、小笠原⑩、
松山⑩、山下⑪、松本⑪、小笠原⑫

作業地・久野への集合場所は定常の小田原駅西口。募集人員50名に対し、インストラクターは13名という財団の手厚い対処に感謝しつつ、マイクロバス3台に分乗出発。いこいの森・高校協の道を進むが、バスは相模湾を望むいつもの場所を過ぎ、尾根を越え、反対側に箱根宮ノ下温泉を見る場所。

290段の急な階段を下り、33年生のヒノキ林1.5haを4班に分け作業開始。一回の間伐林だったためか、ほぼ全伐倒木が掛かり木になり、フェリングレバーで回したり、ロープで引っ張りしたりして全班が難儀していた。

伐木本数23本、無事故で作業終了後、塔の峰青少年の家に移動。体育館で県森林課の江口さんより、「県産木材の利活用」についての講話があった。

県の森林施業の重点は水源林の保全で、木材生産量は沖縄・香川・大阪の次、下から4番目の話しに驚嘆。しかし県は地域活性化・温暖化対策として今後も育林に努めていくという有意義な講話で、県民参加の森林づくり体験を終了した。

(記 酒井 房次郎 10期)



◆ 県民参加の森林づくり (枝打ち12年生ヒノキ)

【日】 H26.1月18日(土)、8:30~14:30、雪のち曇り

【場】 南足柄市塚原(塚原水源林)

【財】 豊丸様、鳥海様 【看】 青木様

【参】 募集参加者75名

【イ】 L小笠原(多)⑩、大塚①、滝澤⑤、山崎⑦、
松村(俊)⑧、辻村⑨、波多野⑨、横田⑨、
上田⑩、杉崎⑩、大塚⑪、松本⑪、上宮田⑪、
佐藤(義)⑪、澤村⑫、小笠原(望)⑫

平成25年度最後の県民参加の森林づくりとあって早いうちから沢山の方がエントリーされていた。

しかし、18日の朝8時の開成駅付近は空から白いものが舞っていた。一時は先が見えないくらいだった。現場の様子を考えると不安がよぎった。そんな心配をよそに参加者の方々が元気に集まってきた。バスが発車するころには晴天になってきたのでホットする。

現場は植栽以降手入れがされていなかったところがみるみるうちに明るく変化していく。参加者のパワーが予定以上の広範囲を枝打ちしていった。さすが年度末作業である。見違えるようになった山をみながら昼食をとる。朝のうちの雪で足元が悪いので少し早めにたつまま森林講話をおこなった。「タネの不思議」を飛行模型や現物表示で講話した。きれいになった山を背に帰路についた。

(記 小笠原 多加子 10期)

◆ 川崎市公園緑地協会

(こども黄緑クラブ)

【日】 H26.1月19日(日)、晴れ

【場】 ニヶ領せせらぎ館(川崎市多摩区宿河原)

【参】 18名(子ども7名、大人11名)

【スタッフ】 川崎市公園緑地協会 2名

【イ】 L小林⑩、柳澤⑪、大橋⑪

「こども黄緑クラブ」では、神奈川工科大学の石渡進一教授のご指導の下、冬のニヶ領用水で水辺の生き物の採集と観察を行いました。

長靴履きで冷たい水に入り、親子で協力して、たも網で川底の泥を掬うと、ヌマエビなどの川エビ類やユスリカの幼虫など、思いのほか多くの生き物を採取出来ました。教授のお話では、タイワンシジミなどの

外来種の侵入が著しく、在来種の生態系を脅かしているとのことでした。また、二ヶ領用水のように三面護岸された人工河川の構造は、ホタルなど甲虫類の棲息を困難にするなど、生物多様性発達の妨げになっていることも指摘されました。

子どもたちは観察に夢中になり、教授を質問攻めにしていました。大人にとっても示唆に富んだ観察会で大変勉強になりました。

インストラクターとしては移動時及び作業中の安全確認と記録を行い、講座終了後に、コナラの原木へのシイタケの駒打ちの実習をしました。

(記 柳澤 千恵美 11期)

◆ 相模原市立串川中学校

間伐体験

日 H26.1 月 22 日(水)、晴れ

場 相模原市澤井 やませみ及び大日野原

参 中学1年生71名、
大人8名(教師、やませみ職員等)

財 古舘様

イ L 小野⑦、出口④、佐藤⑤、宮本⑥、
有坂⑧、内野⑨、松山⑩、加藤(久) ⑫

昨夜来の雪の残る大日野原林内にてくスギ・ヒノキの間伐を行ない水源林の役割を考える>事テーマに行なわれた。間伐対象木は大径木且つ高木の為危険度が高く安全チェックシートでの打合せも時間をかけて実施。

下見時に極力班毎の間隔を広く確保した上、鋸を入れる前に班毎に伐倒方向を確認し近隣班に知らせたことで隣接班からの伐倒木の倒れ込みの確率が低いことがわかりお互い安心できた午前中各班とも1本伐倒し午後枝打ち・玉切・コースター作りで作業終了、定刻やませみへ帰着道具清掃・返納の後班別にグループミーティングに移り森林講話・質疑など行い定刻14:30に終了。事故も無く概ねスケジュールどおりに進行出来たことは学校・やませみの職員のご協力と各インストラクターの奮闘に負うところで大で感謝申し上げます。

(記 小野 幸広 7期)

◆ ゆがわら農林水産まつり

日 H26.1 月 25、26 日(土、日)10:00～15:00

場 湯河原海浜公園

参 (来場者(推定))

1/25: 約6500名、1/26: 約5000名

イ 1/25: 米本②、大塚⑪

1/26: 米本②、森本⑤

四季彩のまち「農林水産まつり」に神奈川県森林組合連合会のご紹介で出店できたもので、今年が2回目。県森連さんは、まな板・しいたけ原木を販売、私どもの会はいつものグッズ販売と緑の募金を展開した。

肝心のグッズ販売額は、2日合計で48,600円と好成績。初日の大塚晴子さん(11期)の頑張りとは特筆されよう。

一方、募金は課題を残したので、ご当地のゆるキャラ「ゆたぼんファイブ」の活用などを次回検討してみたい。

(記 森本 正信 5期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」

ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/t7006/p23426.html>



投稿概略フォーマットと略語の説明

日: 日付 (できれば時間とお天気も)

場: 場所

参: 参加者

県: (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財: ((公財)かながわトラストみどり財団) 看: 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合・XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ: インストラクター (○数字: 期) 研: 研修生

(以下、本文を概(おおむ)ね300～400字を目安として執筆ください)

やどりき水源林 ミニガイド

2月のトピックス

ヒノキボックリ(サッカーボール)



(2.1. その後 2.8.から大雪)

3月の水源林

春です。日陰には残雪が残っているかもしれません。草花の芽吹きも始まります。ミツマタも咲きます。

「森の案内人」情報

3月1日(土)より活動が始まります。
「いらっしやい!!」

●実施時間:毎週土曜・日曜・
午前10時・午後1時、1~2時間程度

●集 合:水源林入口ゲート前
●内 容:森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。
参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記まで
ご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラス
みどり財団 TEL:045-412-2255
携帯:090-8580-5348
FAX:045-412-2300

●ホームページ:<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

2014in 東京

「森林と市民を結ぶ全国の集い」開催
暮らしとつなげる森林の恵み ~
都市の視点から考える。

問い合わせ:森づくりフォーラム

tsudoi@moridukri.jp

Tel 03-3868-9535

3/22(土)、3/23(日)東京大学農学部キャンパス

(東京都文京区弥生 1-1-1)

東京メトロ東大前駅(南北線)徒歩1分

参加費:1日 1,000 円

参加申し込み:<http://www.moridukri.jp/>

Fax での申し込み:03-3868-9536

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集して
います。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel: 090-6150-6173

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax: 046-825-9281

Mail: 2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。



大雪だった
ので現況
に合わせた
イラストです。

編集後記

★気がついたら2月でした。早いであ
すね。去年より早い気がします。

(赤崎)

★この2月は初めは物めずらしさの
雪でしたが、とことん泣かされました
ね。さらに家族はインフルエンザに
罹りてんてこ舞いでした。

(水口)

★“冬来りならば春遠からじ”の言葉
ですが、最近の寒さには参りますの
白旗を上げそうです。

木々の冬芽を眺めながら、春よ来
い!!

(小沢)

★都会は大雪。忘れかけていた冬や
雪に関係した語を思い出したのでちょ
っと書いてみました。雁木(がんぎ)、樫
(かじき)、雪崩(なだれ)、雪崩避け
(なでよけ)、雪庇(せっぴ)、雪駄(せ
った)、寒(かん)じる、悴(かじか)む、
踏籠(ふんごみ)、靴(あかぎれ)、霜焼
(しもやけ)・・・今の人達には??

(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用
してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛ま
で購読料年2000円をお振込み下さ
い。振替用紙には、必ず、住所、氏
名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/
1年間お届け致します。

(頒 価 200円 送料共)

編集人: 松本 保

事務局: 竹島 明

広報部: 小沢章男 水口俊則

鈴木 朗 鈴木松弘

大塚晴子 加藤暖子 赤崎さほり

支援

伊藤恭造 川森健司 谷川 克

一時休み 真貝 勝 徳岡達郎

まつだ桜まつり 2月15日(土)~3月16日(日)



場所:松田山ハーブガーデン等

開催時間:9~17時

お問い合わせ先/

松田町環境経済課 Tel.0465-83-1228

松田町観光協会 Tel.0465-85-3130

松田山ハーブガーデン Tel.0465-85-1177

山や散策、ボランティア活動の
お帰りにお越しくださいませ!!
暖かい飲み物や食べ物が待っています。

山 麓 の オ ア シ ス ㊟

こ ま ち

小田急 新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店